



浜田タイムス

酒田市立浜田小学校

平成30年7月26日

No. 7

校長 渡邊 幸二

明日から子どもたちは25日間の夏休みになります。何かやりたいことを決め、計画的に、そして有意義な夏休みを過ごしてほしいと思います。また、交通事故や水の事故、ちょっとした心の隙間で起きる万引きやいじめなどの事故もなく楽しい夏休みになることを願っています。生活や学習について、おうちの方から子どもたちと話し合いを持っていたいただければ幸いです。



夏休み、どんな一日を過ごすのか……

さて、この25日間をどう過ごすのかによって、子どもたちの2学期のスタートは大きく違ってきます。中には1学期落ち着きなかったお子さんが、2学期は見違えるような成長を見せることがあります。多くの子どもたちは、普段できない体験をしたりちょっぴり自立した生活を送ったりしたことで、十分リフレッシュ(充電)してやってきます。しかし、逆に、ゲーム三昧だったためか生活がめっちゃめっちゃになったり体調を崩したりして2学期のスタートを迎えるお子さんもいます。

ゲーム三昧で過ごすのか

現代の子どもたちにとって、夏休みは「ゲームやり放題」の期間となっているのでしょうか。もしそうであれば、それは大きな危険をはらんでいるように思えます。

世界保健機関(WHO)が今年、ゲーム依存症を病気の分類に盛り込む方針を示しました。おとなり韓国では、ゲームのやり過ぎによる死者「ネトゲ廃人」が出現したとの報道もあり、それらは記憶に新しいと思います。ゲームやり放題は、親が子どもの頃の「遊び放題」とは大きく質が違います。過去、外で元気に遊び過ぎて廃人になった子どもはいないのです。

確かにゲームは子どもたちの心を虜にする魅力的な遊びであることは間違いないことです。また、脳の研究ではゲームによる良い効能も確認されています(詳しくは池谷裕二著「脳は何気に不公平」P75をご覧ください)。しかし同時に、先のWHOの報告のように依存性が見られ、幼い子どもたちにとって大人の進行より早いスピードで進んでしまうという恐ろしいものです。さらに、東北大の川島隆太教授の研究によれば、1日2時間以上のメディア(動画やテレビゲームなど。最悪は人気のあのSNS)使用によって、学習したことが脳から消えてしまうという報告もなされています(詳しくは2学期早々子どもたちにも話します)。



では、どんなことをして過ごせばよいか

先日子どもたちに配布された『夏休み 浜田っ子のくらし』には、どちらかと言うと「してはいけないこと」や「生活する上で気をつけること」が中心に書かれています。どれも夏休みを安全に、そして有意義に過ごすためには大切な注意事項ですので、親子でよく話し合っていたいただきたいと思います。その時、おうちの方に意識していただきたいのは、どう過ごさせることでお子さんの自立へつなげるかということです。何とか早く一丁前の人間としてやっていけるような、そんな自立(自律)した人に成長させる機会と夏休みを捉えていただければ幸いです(ほったらかせばいいということとは全く違います。それは「放任」という虐待です)。

何かにのめり込むこと

では、具体的にどんなことをして過ごせばよいか…。

こんな時いつも思い出すのが、おとなり鶴岡市にある慶応大学先端生命科学研究 所富田勝所長のお話です。

知りたくてたまらない状態、ワクワク感いっぱい学ぶ時こそ、その後も心(頭)に残る知識、本物の生きた知識となる。

のだそうです。今、本校でも目指している「自ら」が動き出している学びの姿です。富田先生も、若い頃は「生物」の授業は嫌いでほとんど何も覚えていなかったそうですが、研究者となり自分が知りたくてのめり込んだ先端生命科学では、生物についてはかなり専門的なことを自力で学び身につけたと言っておられました。

P T A広報「はまだ」にも書きましたが、私も釣りや鉄道などの遊びにのめり込んで、そこで学んだことがたくさんあるように思います。夏休みは、ゲーム以外の何かにのめり込む良いチャンスだと思います。たとえば、

カブトムシに夢中になろう！

マッチ棒工作を作りまくれ！

自分の好きなことにうつつをぬかせ！

いくらカブトムシに夢中になってカブトムシにかけては誰にも負けないような知識を持っていても、その知識は他の人にとっては全く必要のないデータです。大人から見れば「くだらないこと」に見えるかもしれません。でもそうやってワクワクしながら学ぶ経験が重要なのです。私たちは自分が昔そうだったにもかかわらず、そんな子どもを見ていると「そろそろやめて勉強しなさい！」と言ってしまう。子どもにとっては、それこそ本当の「勉強」なのに……。

妖怪調べ

あるお子さんは夏休みのチャレンジ(宿題)で「妖怪」を調べるということでした。どこの都道府県の妖怪か調べるということです。妖怪調べにのめりこむことで、4年生の社会科の学習内容である47都道府県まで頭に入れば最高の学びになりそうです。



ホームページを開設します

4月のPTA総会でお伝えしましたとおり、浜田小学校のホームページを開設します。運営開始は2学期のはじめを予定しています。

おおよそどんな内容になるかや公開に際しての配慮事項については次のように考えております。

トップページ

トップページは、以下のようなメニューボタンの他、学校だより、学校へのアクセス、学校の沿革、何かみなさんへお知らせすること（インフォメーション）などが見えるようにする予定です。



学校経営

学校の経営方針や年間教育計画（教育カレンダー）、学校で取り組んでいる研究などを盛り込む予定です。

校長室より

歴代の校長先生方のお名前や、現在の校長のあいさつの他、子どもたちのことや学校経営に関して校長が考えていることなどのページを作っていきます。

危機対応

大地震や大水害の発生など、いざと言う時にどう対応したらよいかを簡単にまとめた資料の他、学校いじめ防止基本方針、災害時対応マニュアルなどを掲載する予定です。



その他

ここには〇月の献立表、今日のメニューの写真などの毎日の給食に関する記事を掲載する他、家庭環境調査票などの資料がダウンロードできるように組み立ててまいります。

ホームページ公開に際しての配慮事項

- ◆学校だより等に載っている写真については、4月に確認しました掲載許可をもとに掲載いたします。写真にネームプレートが写っている場合は、わからないよう加工して掲載いたします。（お子さんの写真の掲載に不安のある方は学校までお申し付けください。）
- ◆児童等の名前については、イニシャルにするなどの配慮をしていきます。

おそうじ名人 ～そうじがんばりカード獲得者

今回のおそうじ名人は、以下の子どもたちです。今回はこれまで最多の59人の子どもたちががんばりカードを獲得しました。

ただ、がんばっている子どもが増えてきた反面、昼休みの遊びが止められずにそうじに遅れてくる子どもや、身じたく忘れ、班長の言うことを聞けない子どもなど気にかかる面も見られます。

そうじは、心を鍛える大事な活動です。2学期は無言清掃がさらに広まり、もっともっとたくさんの子どもたちが名人となるようにと願っています。



3
回
目

A.K さん、I.T さん、K.M さん、A.H さん、O.K さん、K.M さん、
W.S さん(以上1年) O.S さん、O.A さん、K.K さん、K.Y さん、
K.A さん、S.K さん、T.K さん、Y.R さん(以上2年)
A.Y さん、S.N さん、S.H さん、T.S さん、T.R さん、T.H さん、
Y.Y さん(以上3年) I.H さん、U.K さん、O.T さん、O.T さん、
O.Y さん、K.M さん、S.H さん、S.K さん、T.R さん、
N.Y さん、H.Y さん、M.K さん(以上4年) A.K さん、I.S さん、
I.K さん、K.S さん、K.T さん、G.N さん、S.K さん、S.S さん、
S.H さん、T.M さん、T.R さん、N.A さん、H.M さん、N.E さん
(以上5年) I.Y さん、O.M さん、S.S さん、S.Y さん、
S.R さん、S.T さん、S.M さん、H.A さん、H.K さん、
Y.Y さん、W.S さん(以上6年)



1年 I.T さん

トイレのはきそうじを、すみずみまで行っていました。時間いっぱい働いています。



2年 Y.R さん

与えられた仕事をしっかりとやってくれました。長い廊下のぞうきがけをがんばりました。



3年 T.T さん

早めにそうじ場所に来て仕事を始めています。時間いっぱい、もくもくと働きました。



4年 T.R さん

決められた分担場所をもくもくとそうじしてくれています。そうじが終わった後にはゴミひとつ落ちていないいい仕事です。



5年 A.K さん

無言清掃で時間いっぱい休みなく働いていました。周りの人のこともよく見ていて、全員で仕事できるよう声をかけていました。



5年 N.E さん

いつも時間通りに仕事場所に来て、すみずみまでいいにそうじすることができました。



6年 H.K さん

下級生の面倒を見て、そうじと一緒にしていました。早く終わるとガラスみがきをして時間いっぱいそうじしました。



6年 H.A さん

そうじ用具の上手な使い方などを下学年にいいに教えていました。